

先般、守山小学校教諭による不祥事において、市教育委員会が不適切な一連の対応をしたために、被害者をはじめ、子どもたち、保護者、市民の皆様、そして教職員に、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心から深くお詫び申し上げます。

被害者が被害届の提出を止められたと感じ、同届出の提出を遅らせたこと。また、被害者に寄り添った対応が十分できていなかったこと。さらには、事案発生時点で速やかに県教育委員会へ報告しなかったことや加害者処罰の明確な方向性を示した対応ができていなかったことについて、私は昨日、被害者に直接お会いし、深くお詫びを申し上げました。

また、今回のこれら不適切な一連の対応について、結果として市民の皆様に疑念を抱かせてしまったことについて、私の不徳の致すところであり、重ねてお詫びを申し上げます。

今後は、これら不適切な一連の対応に真摯に向き合い、再発防止に徹底して取り組むとともに、改めて、綱紀の粛正に万全を期すことにより、被害者をはじめ、子どもたちや市民の皆様の信頼を一日も早く回復できますよう全力を尽くしてまいります。

令和5年7月13日

守山市教育委員会教育長 向坂 正佳